

## 真田邸南側土塀の一部損壊について（経過）

令和 8 年 9 月 13 日（日）午後 7 時 30 分頃、国指定史跡「松代城跡附新御殿跡」を構成する真田邸の南側土塀が、約 49m にわたり一部損壊しました。

現在までのところ、人的被害は確認されていません。

### 1 発生日時

令和 8 年 9 月 13 日（日）午後 7 時 30 分頃

### 2 発生場所

長野市松代町松代 1 真田邸南側土塀（史跡松代城跡附新御殿跡）

### 3 これまでの状況と対応

- ・令和 6 年 11 月 南土塀東部（真田公園側）のたわみを確認。
- ・令和 7 年 1 月 南土塀の一部（真田公園側）を緊急補強。  
（令和 8 年）
- ・9 月 12 日（土）午後 4 時 30 分頃、警察から土塀の傾きについて連絡があり  
現地協議のうえ、傾きが認められた箇所について、カラーコーンで囲み、歩道上の通行規制を行うとともに、補修業者へ 14 日の緊急対応を依頼。
- ・9 月 13 日（日）午後 7 時 30 分頃、傾きが確認されていた箇所を含む、南土塀の約 49m の範囲が一部損壊。  
午後 10 時頃、消防局による土塀の損壊に伴う人的被害確認後、カラーコーンによる歩行者通行のための安全確保・車両交通規制を行う。

### 4 今後の対応

今後は、現状の記録及び部材等の保存・調査を行い、文化財としての価値を踏まえた適切な復旧方法を検討する。

あわせて、真田邸内及び松代文化施設の他施設の土塀についても、安全確認を行う。

### 5 備考

本土塀を含む新御殿跡（真田邸）は、昭和 56 年（1981）4 月 11 日、松代城跡とともに、国の史跡指定を受けている。

新御殿は経年劣化等により平成 15 年度（2003）から平成 24 年度（2012）にかけて文化庁補助による保存修理工事を実施。南側土塀は、控え柱の交換と屋根替え・壁塗り直しによる部分修理工事を実施していた。（平成 17 年度、2005）

・文化施設名 真田邸

（開設年月日 昭和 42 年 4 月、敷地面積 7,986 m<sup>2</sup>）